

稲城野草散策の会

野草スケッチ アキノキリンソウ（キク科）



1996/11/05 稲城市百村 絵と文 Ta

スケッチに出かけるときは、いつもコンディションが良いとは限らない。別に風邪を引いたわけでも、二日酔いというわけでもなく、何となく気分が高揚しないことはあるものだ。

晩秋ともなると、だんだん花は少なくなってくる。

アキノキリンソウならまだ咲いているだろうと出かけた日、鬱のような状態だった。

会報第23号 2006年11月19日発行 発行責任者 尼子 房夫

アキノキリンソウは、花の美しさをキリンソウ（ベンケイソウ科）にたとえて付けられた名前だそうである。

別名をアワダチソウという。アワダチとは、酒を醸すときの泡に見立てたものだという。どちらにしてもビールを連想させる(^_^)

嫌われ者のセイトカアワダチソウはアキノキリンソウと同属で、花もよく似ている。これは別名のほうをいただいた名前だ。

背の低い状態で咲いていたセイトカアワダチソウを、アキノキリンソウと間違えそうになったこともある。

アキノキリンソウは通常50～60cmの草丈だ。

上半分ほどに、黄色い花がびっしりと付く。

立派に咲いているアキノキリンソウを見つけ、スケッチの準備を始めた。

いつものB6の用紙では全部は描ききれないが、一番良い部分を切り取った構図にすればよい。

葉の柄にはヒシがあるのが特徴なので、葉も入れなければならない。

葉を描かずに失敗したヤマハッカの例を思い出す。

ところが、花を見ているうちに、気分が萎縮してくるのがわかった。

花の数がやたらと多い。

B6サイズに入るだけ描くとしても、いくつ描くことになるのだろう。

とても描ききれない、との思いが強くなってくる。

めげてしまった。

いままで、細かい花をたくさんつけているものを何度も描いてきた。

ハナウドしかり、チダケサシしかり、サラシナショウマもそうだった。

苦しかったメドハギもなんとか描ききったではないか。

気力を絞ろうとするが、どうもいけない。

こんな気分ではとても描けそうもない。その被写体はあきらめることにした。

そして選んだのがこの花であった。草丈30cmにも満たない、貧弱な株だ。

おそらく、草刈された後で再度伸びてきたものであろう。

こんな発育不全みたいなチビ助じゃあ・・・という気持ちもあったが、今日のコンディションではこれが相応だ、と自分を納得させた。

描きだしてみれば、筆の運びは普段と変わらない。

沈み込んでいた気持ちも徐々に上向いてくる。

それでも、集中力を持続できる時間がいつもより短い。

ときどき筆を休めて近くをうろついたり、一服したりで気分転換を図るのだが、その回数が多かったように思う。

このスケッチをいま眺めても、そのときの気分が、なにかに現れているわけではない。普通に仕上がっていると思う。

しかし、用紙の大きさに対して、中央部分にちまちまと描かれているだけだ。

気分は構図に現れることを知ったような次第であった。

* * * * *

〔観察記録〕 10月21日 よこやまのみち

◆よく歩きました。よこやまの道

よこやまの道、ご参加の皆様、お疲れさまでした。

色々のご協力頂いた皆様、有難うございました。

今回は、T aさんだけでなく、カメラマンさん達（たざわさん、sige さん）も不在だったので、フォトアルバムはよる記録写真は、（たぶん）出ません。

（めりべ）

めりべさんの解説、ウグイス嬢の名前の発表、名札の貼付け。

3点セットで、大人数の参加者がいても、分りやすく良かったです。

花も虫も少ない季節になりましたが、沢山教えて頂き、ありがとうございました。

T aさんにお会いできなかったのは残念でしたが。

「アイナエ」、小さな花でした、意味も分らないので、名前が覚えられません。

（まいたに）

天気はますますでしたが、ちょっと歩く距離が長かったでしょうか。

ノギクの仲間、タデ科の植物、ブナ科の植物、それにアイナエ。いろいろ観察出来ました。

ウグイス嬢を務めていただいた牧野内さん、札張り役の田中さん、高津さん、回収役の本田さんと井口さん、記録係の竹越さん。おかげさまで、順調にいけました。ありがとうございました。（FAM）

記録を見て、目を引いたのがアイナエです。小さい花なのに、よく見つけたと思います。

アイナエは、古い図鑑にはフジウツギ科として載っていますが、現在はマチン科

に分類されているようです。稲城にも1箇所あり、来月の「ふれあいの森」では残り花が見られるかもしれません。

冬芽もいくつか載っていました。そろそろ冬芽の季節到来！ですね。(Ta)

◆観察記録（番号順）

竹越さんの記録を参考にさせていただきました。

- | | | |
|----------------|-------------------|-------------------|
| (01)キブシ冬芽 | (02)ホオノキ冬芽 | (03)クロモジ |
| (04)オモダカ(花) | (05)ゲンノショウコ(花) | (06)アイナエ(花) |
| (07)スズメウリ(実) | (08)クサギ(実) | (09)ノハラアザミ(花) |
| (10)ハナタデ(花) | (11)イヌタデ(花) | (12)クヌギ |
| (13)コナラ | (14)シロダモ(実) | (15)ミツバアケビ |
| (16)クヌギハケタマフシ | (17)オオイヌタデ(花) | (18)ヤマノイモ(実) |
| (19)オニドコロ(実) | (20)イヌコウジュ(花) | (21)アメリカイヌホオズキ(花) |
| (22)マルバヤハズソウ | (23)アキノノゲシ(花) | (24)ヤクシソウ(花) |
| (25)ノコンギク(花) | (26)ガマズミ(実) | (27)エビツル |
| (28)イヌシデ | (29)ケヤキ | (30)ノコンギク(花) |
| (31)ウド(実) | (32)リュウノウギク(蕾) | (33)ネコハギ |
| (34)ハリギリ冬芽 | (35)カマツカ | (36)シラヤマギク(花) |
| (37)コウヤボウキ | (38)ヤマコウバシ | (39)タマノカンアオイ |
| (40)シロヨメナ(花) | (41)ジャノメチョウ科の蛹 | (42)ニガイチゴ |
| (43)スイカズラ | (44)アキノキリンソウ(花) | (45)ミズキ |
| (46)サルトリイバラ(実) | (47)ナワシロイチゴ | (48)アラカシ |
| (49)クロモジ冬芽 | (50)ホタルブクロ(花) (実) | (51)ウリクサ(花) |
| (52)ホタルブクロ葉 | (53)コセンダングサ(花) | (54)フユノハナワラビ |
| (55)ウツギ(実) | (56)コマツナギ(実) | (57)ヒサカキ |
| (58)タイアザミ(花) | (59)クマシデ | (60)ウグイスカグラ |
| (61)コナラ | (62)アカシデ | (63)ウラジロガシ |
| (64)シラカシ | (65)アラカシ | (66)アワブキ |
| (67)アオミズ | (68)クマシデ | (69)クワクサ |
| (70)コメナモミ(花) | (71)エノキグサ | (72)ダンドボロギク(花) |
| (73)クワ | (74)ヒメコウゾ | (75)ミソソバ(花) |
| (76)ヤブヘビイチゴ(実) | (77)カントウヨメナ(花) | (78)アキノウナギツカミ(花) |
| (79)ノササゲ(実) | (80)ミスヒキ(花) | (81)コガマ |
| (82)フクラスズメの幼虫 | (83)コウヤワラビ | (84)ワタ |

(85) ツルグミ

(86) マルバルコウ(花)

(87) サツマイモ(花)

(88) セイバンモロコシ

(89) クサボケ(花)

(90) イヌザクラ

(91) ヤマトアオダモ

〔観察記録〕 10月28日 調布野草園

10月28日の観察会は72名の参加があり、最初はグリーンギャラリーに行きました。かつて緑の相談所があったところです。草花、ハーブ、樹木が見られます。めりべさんがゲンノショウコ(別名ミコシグサ)の素敵な写真を撮って、「おしゃべりるーむ」にアップされています。

神代植物公園の中に入って、野草園を歩いた後、1時まで自由行動。この間にいろいろ観察されたレポートが「おしゃべりるーむ」に載っています。

ぽんこさんは丁度咲いていた半八重咲きのコブクザクラの子房が2つあることを確認。

めりべさんは、温室に行っているいろいろなものを観察して、レポートされています。

ブラジル原産の木性ツククサの一種「ディコリスンドラ・シルシフローラ」
カカオノキ(ピッタネリア科)の花
オヒルギ(ヒルギ科)の花
各種ランの花

sigeさんのアルバムでは、ネコノチチ、ニンジンボク、ミカエリソウの花などの写真が見られます。

そのあとは、水生植物園から調布市野草園に行き、解散ということでした。

事情で12時に帰宅してしまい、失礼しました。(FAM)

〔合宿オフ〕 10月14日～15日 フジの森

10月14日～15日に稲城野草散策の会としては初めての試みとして、東京都西多摩郡桧原村にある「フジの森」で、観察三昧の合宿オフを開催しました。日中は周辺の観察、食事の後は、プロジェクターを使って、予定したテーマのスライドショーと当日の写真を写しての勉強会で、非常に有意義だったと思います。

今回の催しは、連絡の手間を軽減するために、参加申込み・連絡は「稲城野草散策の会ML」に限定させていただきました。参加者は19名でした。

フジの森は、東京都桧原村の森の中に立つコテージです。富士写真フィルム(株)から「未来のための森づくり」として助成を受けてオープンしました。NPOフジの森はここを「教育の森」として「山村における体験交流、自然観察会などによる環境教育、身近な自然の保全活動、山村の生活や歴史などの文化教育」など

の活動を行っています。

今までにもこのフジの森で、n i f t yの仲間が毎年山菜オフ、キノコオフなどを開催しています。

今回のスケジュールは、

14日 武蔵五日市駅から車に分乗して、フジの森に到着。昼食。

熊倉林道の観察。

仕出しの弁当と豚汁、higeさん特製のダッチオーブンを使った肉料理、チーズの夕食

プロジェクターによる勉強会

戸外で天体望遠鏡による星の観察など

15日 朝食（パンと尾突庵特製卵スープ）

出野沢林道の観察

仕出しの弁当と豚汁（採集したハタケシメジ入り）で昼食後、矢沢林道の観察

ということで、観察三昧の合宿オフとなりました。

観察で目に付いたもの：セキヤノアキチョウジ、ツリフネソウ、コシオガマ、フトボナギナタコウジュ、クサボタンの実、カワミドリ、オオガンクビソウ、ミズ、ヤマミソソバ、タデの仲間など観察した植物は140種を越えました。

勉強会では、画像処理ソフト「J-Trim」の使い方が大変参考になったという方が多かったようです。また、田沢さんの写真がきれいに撮れていて、好評でした。特にアザミの花の蜜を吸っているホシホウジャクの写真は凄いです。



今後、このような催しを年1~2回開催することを考えています。

申込み・連絡は「稲城野草散策の会ML」で行うこととなりますので、参加ご希望の方はMLへのご参加をお勧めします。

◆「樹皮ハンドブック」の斡旋

最近発売された「樹皮ハンドブック」の斡旋を行います。著者の林さんにメールして、50冊を購入するようにしました。「お知らせ」に詳細を書いておりますが、定例行事やフローラオフの際に配布します。（広沢）

〔行事予定〕 2006/11/19 (日) 稲城ふれあいの森

項目	説明
集合	am10時、京王相模原線若葉台駅 ※会旗目標 若葉台駅の改札口は一個所だけです
交通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で5駅目 小田急、多摩モノレールの場合は、多摩センター駅で京王線に乗換えて2駅目 若葉台駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	キャンプ村 (一回りして若葉台駅へ戻ります) 若葉台駅にてpm4時頃解散予定
見所 その他	秋の草花・・・リンドウ、アキノキリンソウ、リュウノウギク、ツルドクダミなど。運が良ければクルマアザミが見られるかも
地図	
コース	若葉台駅→南黒川→日大グランド脇→小田良通り→西小田良谷戸→大塚牧場脇→上谷戸大橋下→上谷戸親水公園→第4公園→若葉台駅 多少のアップダウンがあります コースは天候その他により変更する場合があります ご用のある方は途中で抜けても構いません

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

〔行事予定〕 2006/12/17（日） 焼き芋大会

項目	説明
集合	午前10時、京王相模原線京王よみうりランド駅 ※会旗目標 京王よみうりランド駅の改札口は一個所だけです
交通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で3駅目 京王よみうりランド駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	稲城市穴沢天神での恒例・焼き芋大会です。穴沢天神で解散。最寄 駅は京王よみうりランド駅です 焼き芋準備グループと観察グループの2班に分かれて行動する予定 です
見所・その他	たき火(^_^) 冬芽、常緑シダなども観察します 当会の忘年会を兼ねます。芋、酔い子の飲み物などは幹事が用意し ます。差し入れ大歓迎！！
コース	観察グループのコース： 駅前～よみうりランド遊歩道～小沢城址～穴沢天神（焼き芋大会） （解散：15時30頃）

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日500円

〔募集・2007年度観察会の推薦場所〕

2007年度の観察希望の場所を募集します。皆様からのご提案をお待ちします。

月例の場所としては、12月の焼き芋大会、1月の七草摘み、七草粥。稲城ふれあいの森、三沢川下りなど稲城での観察会を6回くらい、その他の場所8回。バスハイク観察会1回を目安に考えています。

過去のバスハイク観察会は、下記。

000806（日）乙女峠

010729（日）三ツ峠

020627（日）三窪高原

030724（木）高峰高原

040722（木）入笠山

050714（木）高ボッチ

060427（木）函南原生林

(FAM)